

教育の駅 いながわ

兵庫県川辺郡猪名川町教育委員会 発行

〒666-0292 猪名川町上野字北畑11-1 電話：766-6000 FAX：766-8904 Eメール：kyoikushinko@town.inagawa.lg.jp

1人1台導入のきっかけ



タブレット端末の活用もしつつ、これまでのノートづくりも大切にしています。

タブレット端末をはじめとする情報機器は、子どもたちも含め私たちの生活のごく身近なものになってきています。これからの情報社会に向けて、情報機器に慣れ親しみ、効果的に使いこなす「情報活用能力」が、これからの時代を担う子どもたちには必要な力になってきます。その情報活用能力を育成するために、猪名川町としましては、学校現場のICT（情報通信技術）環境の整備を推進し、タブレット端末1人1台の導入に至りました。

大切に考えていること



描きたい物をカメラで撮影することで、いつでも同じ状態で描くことができます。

タブレット端末を効果的に活用するうえで大切に考えていることは、「タブレット端末はあくまでも『学習道具』のひとつであることを理解したうえで活用する」ということです。例えば定規でしたら、長さを測りたい時、直線を書きたい時など、必要なタイミングで活用し、学習に役立てています。タブレット端末も同じで、全ての時間に「使わねばならない」のではなく、タブレット端末を活用することで学習に深まることができるタイミングで「意図的に使う」ことを考えています。

全児童・生徒にタブレット端末を導入

タブレットの効果的な活用例

一斉授業

一斉授業は、主に教員が主導で、全ての児童生徒に同じ内容を同時に教える学習形態です。例えば同じ画面を教員と児童生徒とで共有したとき、教員機の端末画面を子どもたちの端末機に一斉送信することで、児童生徒は手元で教員機の内容を確認できます。

また、教員は子どもたちの端末機の端末画面を一覧で把握することができると、一覧から児童生徒の意見を取り上げて、全体で共有することや、複数の意見を比較して表示することも可能となります。この機能を活用することで、例えば、普段発表が苦手な子どもに簡単に意見を出すことができ、さらにその子の意見を取り上げ、学級全体で認めることができれば、発表に意欲的になる事も考えられます。

協働学習

協働学習は、児童生徒が少人数でひとつのグループを作り、課題の解決に向けて協働して取り組む学習形態です。タブレット端末を活用することで、複数台のタブレット画面を合体させ、1枚の模造紙のようにして発表資料を作成

したり、現在の感染症対策のように、向かい合いながらの活動が難しい場合でも、1枚の画面資料をグループの複数人で同時に編集したりすることもできます。

ほかにも、端末内の様々な機能を活用して、各教科の学習をさらに深めることができます。たとえば生活科・理科・社会科などの学習では、カメラ機能で撮影した自然の草花や施設・設備などを全体で共有できます。また、体育科の学習では、技を行っている姿を撮影し、技のポイントを話し合っ確認しながら、グループ全員で技の成功に向けて活動することができます。

個別学習

導入している学習支援ソフトのアプリケーションや、オンライン学習を活用することで、児童生徒一人一人の学習進度に応じて個別でドリル学習に取り組めます。配付も容易、採点も自動採点なので、時間を効率よく使うことができます。授業の最初の復習に、あるいは授業の終わりのたしかめ問題等で活用しながら、学習の定着を図ります。

猪名川中校区の小学6年生は、入学校を選択できます

猪名川中学校の大規模な教育環境を望まない生徒保護者への配慮や、中谷中学校及び六瀬中学校の生徒数の増加を目的に、特定地域選択制を実施しています。

従来の通学区域は残したままで、猪名川中学校区の生徒は中谷中学校、六瀬中学校に就学することができます。

ただし、令和4年（2022年）4月からは、中谷中学校と六瀬中学校が再編されて、新しい中学校（位置は現中谷中学校）が開校します。令和3年度の特定地域選択制入学（就学）生は2学年より新設校で就学することになります。

○特定地域選択制対象者

特定地域（猪名川中学校区）に住所を有し、または住所を有する見込みの令和3年度猪名川中学校1年生として入学する予定の現在小学校6年生の児童。

○選択対象校

中谷中学校 六瀬中学校

○就学の条件

- (1) 入学する選択希望校の教育活動に賛同し、協力すること。
- (2) 保護者の責任と負担において、生徒が安全に通学できること。
- (3) 生徒が原則として卒業までの間就学すること。

○通学助成

家から学校までの距離が6 km以上の場合は、年間2万円を上限に通学費を助成します。

○就学の開始日

4月1日

○申請期間

令和2年10月1日（木）～11月13日（金） 9時～17時まで（ただし土・日曜日、祝日を除く）

※申請書及び誓約書は、町ホームページからダウンロードまたは、猪名川町教育委員会教育振興課に備え付けています。

○提出及び問い合わせ先

教育振興課

072-1766-6000



中谷中学校・六瀬中学校 見学のご案内

特定地域選択制に伴い、各中学校を見学することができます。

参加希望の方は事前にお申し込みが必要です。

詳細は町ホームページでご確認ください。

問い合わせ先 学校教育課

072-1766-6006



学校園再編について

教育長職務代理者

福西 ぶくにし

堅固 けんご

令和2年度より猪名川町立中学校再編準備委員会が発足し、コロナ禍の中6月17日に第一回目の委員会が開催されました。PTA、地域、教育関係者からなる委員の方により今後の中学校の再編に向けて、具体的な学校づくりの検討を始めました。

平成27年、国が「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」を策定し、全国の自治体に対して学校統廃合の是非について検討を進めるよう求めました。当町においても「学校園あり方検討委員会」や住民アンケートを経て基本方針を決定。方針を基に中学校再編計画を策定しました。既存の伝統ある中

谷中・六瀬中を再編し新しい中学校を作る計画です。今回の準備委員会では、各専門部会で校名、運営、通学、予算、PTA等について検討し、令和4年度開校をめざして準備を進めていく予定です。委員の方の活発な議論を期待する次第です。

また、現在幼稚園においても再編方針案を作り、説明会を開催しています。時代と共に教育環境も時代に合わせた変革が求められています。



楊津小・大島小を選択できます

少人数の特徴を活かし、特色ある教育を推進している小規模な学校（楊津小学校・大島小学校）へ通学区域外から就学を認める小規模特認校制度を実施しています。

次の就学条件を満たす方は、希望により、校区外から通学することができます。

○実施校

楊津小学校 大島小学校

○就学の条件

- (1) 猪名川町に住所を有していること。
- (2) 小規模特認校の教育活動に賛同し、協力すること。
- (3) 保護者の責任と負担において、児童が安全に通学できること。
- (4) 原則、卒業まで就学すること。

○通学助成

家から学校までの距離が4 km以上の場合は、年間2万円を上限に通学費を助成します。

○就学の開始日

4月1日

○学校見学

随時受け付けています。（必ず事前に電話連絡をお願いします。）

楊津小学校

072-768-0010

大島小学校

072-769-0025

○申請期間

令和2年10月1日（木）～11月30日（月） 9時～17時まで（ただし土・日曜日、祝日を除く）

※申請書及び誓約書は、町ホームページからダウンロードまたは、猪名川町教育委員会教育振興課に備え付けています。

○提出及び問い合わせ先

教育振興課または希望する小規模特認校



教育行政功労者表彰



足立 美代子 さん

足立美代子さんは、平成23年10月に猪名川町教育委員に就任し、令和元年までの長年にわたり猪名川町教育行政推進に尽力され、幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた学習環境の提供、学校園の活性化の促進などに貢献された功績が認められ兵庫県市町村教育委員会連合会より表彰されました。



【大島小】みんなの願いが届きますように！

生活・総合の時間に、七夕飾りを作りました。将来の夢や願いごとを短冊に書きました。また、3年生が、飾りの作り方を1・2年生に丁寧に教えていました。少しでも早く安心して楽しくくらすように…それが、みんなの願いです。



【松尾台小】みんなの願いをこめて…シーサーづくり

5年生は社会で「あたたかい土地のくらし」を学習した後、図工でシーサーづくりに取り組みました。伝説の獣、魔よけの意味を持つシーサー。みんなの願いがこもった個性あふれる作品に仕上がるのが待ち遠しいです。



【白金小】まじまった!!!わくわくがっこうたんけん

全員揃っての授業が始まり2週間経った7月、2年生は1年生に張り切って学校内を案内しました。立派なお兄さんお姉さんを憧れの目で見る1年生。待ちに待った学校探検、とても楽しかったよ！



【つつじが丘小】アンソニー先生とスマイル英会話

2年生が、ALT(英語指導助手)のアンソニー先生と一緒に、英語の「あいさつ」について学びました。「How are you?」「I'm OK.」と、笑顔でお友だちやアンソニー先生と会話できました。

学校園通信 さらめき 写真館



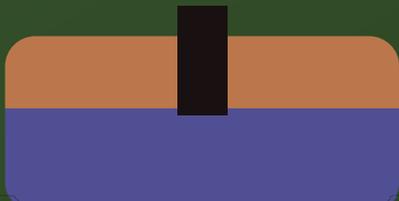
【猪名川小】コロナに負けるな、猪名川小！

全校生が集まるのが難しい中、子どもたち自身で企画したデジタル児童朝会を開催しました。各教室の電子黒板でお話を聞きました。心を一つに、コロナに負けるな、猪名川小！



【楊津小】やないブマッスルタイム

今年度から、火・水・木の朝の時間に、「やないブマッスルタイム」と銘打って、体幹を鍛える体操を行っています。昨年度までよりも回数が増え、銀河鉄道999の曲に合わせた「いなぼうアタック」も併せて取り組み、朝からいい汗をかいています！





【猪名川幼】手洗い頑張っています！

保健の先生に♪手をたたきましよう♪の替え歌で隔々まで丁寧に洗う、手の洗い方を教えてもらいました。毎日何回も手洗いをして、大切な体を守っています！



【中谷中】生徒総会で新設校開校に向けての提案

「令和4年度の新設校開校に向けて、今できることを各学年で精いっぱい取り組みましよう」と生徒会執行部から生徒総会で呼びかけがありました。新設校の校名募集においては、生徒全員が「新しい学校にふさわしい名前」の提案に取り組みました。



【松尾台幼】パワー全開！体操教室！

運動遊びの先生と一緒に、リズム体操や鉄棒、跳び箱などを教えていただきました。「もっとやりたい！」「やったあ！できた！」とやる気満々の友だちと励ましあって楽しい時間を過ごしています。



【六瀬中】交通安全教室

4月の初めに行う予定であった交通安全教室。新型コロナ感染症の影響を受け、学校再開後によく行えました。交通安全について、真剣に学習に取り組みました。学習を活かし、交通事故が無いようにしていきましょう。



【六瀬幼】オタマジャクシすくい

近所の農家をお願いして、田んぼにいるオタマジャクシをすくいにきました。水が多かったのですぐに逃げてしまい、難しかったけれどだんだん上手にすくえるようになりました。すごく楽しかったです。



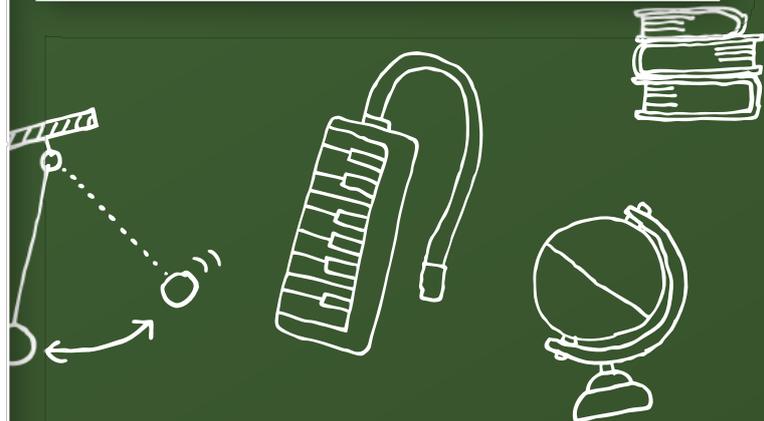
【猪名川中】1人1台タブレット

7月15日、全校生に1人1台のタブレットの貸与がありました。文字の入力がしやすいように、キーボードもセットされた立派なものです。秋ごろには、学校のネット環境も整い、授業での本格的な活用も始まります。



【つつじが丘幼】なつやさい、大収穫！

幼稚園の畑で育てていたジャガイモ・きゅうり・ナス・ミニトマトの収穫をしました。ぐにやりと曲がったきゅうりを見つけて、「これは笑っているきゅうりやね！」「うわ！すごくクククしているよ！」と嬉しそうに話す子ども達。今年は残念ながら、幼稚園で食べることはできませんでしたが、おうちに持って帰った翌日、「おナスおいしかったよ！お味噌汁に入れてもらってん！」と教えてくれたお友達もいました。自然の恵みに感謝です。



「生きる権利」

中村 なかむら 勇太 ゆうた さん (昨年度中谷中学校 三年の時の作品)



一九四五年八月十五日、日本政府は太平洋戦争が終結することを国民に知らせました。僕はその日から七十四年の年月が過ぎたことを、この前新聞で知りました。この八月十五日は、今では「終戦記念日」とされていて、平和を象徴する日の一つとなっています。ですが、西アジアを中心として今でも「戦争」そのものは行われています。これでは、戦争で亡くなった方々へ誓った平和への意志に、意味が無いのではないのでしょうか。僕は「戦争」と聞くと、そう思ってしまうんです。

僕は戦争が起こってしまう理由の一つに、「知らない」ということがあると思います。今、戦争を知らない人が増えています。十八歳と十九歳を対象にして行ったある世論調査では、全体の十四%が「終戦記念日」を知らないと答えています。実際僕の友達にも、答えられない人が何人かいました。僕は不思議に思い、「何で知らないの?」と尋ねました。すると、彼らは僕に「知る機会が少ないし、知らなくても調べれば出てくるでしょよ。」

と言いました。思わず、「テレビでの特集とかも見ないの?」と聞くと、彼らは「わざわざそういう番組を見ようとしていないよ。」

と僕に言いました。僕はこれを聞いてとても複雑な気持ちになりました。人の生きる権利を根こそぎ奪っていく戦争を、なぜ知ろうとしないのかと疑問に思う一方、「調べれば出てくる」という現代ならではの考えに共感してしまった自分がいたからです。また、テレビでの特集も、確かに自分から積極的に見ようとはしていませんでした。そう思うと、自分から知ろうとしなかった自分自身が恥ずかしく思いました。

そこで、体験者から戦争の様子と人々の思いを聞く必要があると思い、祖父に話を聞きに行きました。

祖父は長崎で、八月九日被爆しました。爆心地からは少し離れていたのですが、奇跡的に生き残りました。祖父は当時、四歳であまりその頃の記憶は無いのですが、その日のことだけは鮮明に覚えているそうです。その日は

祖父は朝から友達と遊んでいました。そして、昼前になり家に帰ろうとした時轟音と共に自分が宙に浮いていました。その後、目を覚ますと、自分が奇跡的に生き残っていることに気付いたそうです。でも、周囲の景色が全く違うので、最初は夢かと思ったようです。僕はそれを聞いて恐ろしく思いました。祖父は話の最後に、「戦争は、人が生きる権利を奪う残酷なことなんだよ。今から皆が、戦争を二度としないと決意しなければあかん。」

と言ってくれました。

戦争は、大切な家族や、日常を奪うものです。そのような戦争を再び始めたいけません。戦争を乗り越え、平和を実現させた日本から皆に人の生きる権利や戦争の残酷さについて知らせる必要があると思います。だから、僕は祖父の話を皆に伝えていこうと思います。何年先でも平和な日本であり続け、世界平和を実現させるために。

猪名川町産! 朝採りとうもろこし

7月17日(金)、町立幼稚園、小・中学校で猪名川町産の朝採りとうもろこしが学校給食に登場しました。

毎年5月上旬からとうもろこしの作付けが行われます。肥料や水、雑草や害虫駆除はもちろん、気候の状態、獣害で収穫量が大きく左右されます。

7月上旬、今年はいつもとより生育の早い畑と、遅い畑があったため、お願いしていた本数を納品していただくのが難しくなりました。

給食当日の早朝から生産者はとうもろこしを取

穫。午前6時半、給食センターに採れたてのとうもろこしが届き、生産者、JA兵庫六甲猪名川営農支援センターの職員、NPO法人元気ファーマーの方々、町職員、合計45人でとうもろこし約1300本の皮むきをしました。昭和60年から継続しているこの地産地消、今年も甘いとうもろこしをほおぼる子どもたちに笑顔が広がりました。



新設校開設に向けて

「猪名川町立中学校再編準備委員会」が始動！

令和4年（2022年）4月、中谷中学校と六瀬中学校を再編し、両校区からなる新しい中学校（位置は現中谷中学校）を開校します。

中学校再編は、今後の到来が予期される「人口減少社会」「予測不可能な未来社会」を前にして、生徒の教育環境、学校運営や指導体制の充実を図ることを目的としています。

そして、新設校の開設にあたっては、「多様性」「新しい文化」「パートナーシップ」などをキーワードとして、「未来社会をたくましく生き抜く子どもたち」を育む学校づくりを目指して、学校や地域を超えて知恵を出し合い、対話により他者の価値観や考え方にも共感し、互いの違いを乗り越えて、新しい学校を作り上げるべく準備を進めています。

中谷中学校と六瀬中学校を再編するにあたっては、様々な準備作業と検討が必要となります。

「新しい学校の名称は？」

「制服はどうするの？」

「両校の歴史と伝統、どう保存して、どう引き継いでいくの？」

「PTAの役割は？」

これら種々の課題について検討と調整を図ることを目的として、「猪名川町立中学校再編準備委員会」（以下、「準備委員会」と称します）が設置されました。

準備委員会は、地域代表、PTA代表、教職員代表の39名の委員で構成されており、学校名や校歌、校章をはじめ、通学体制、通学支援に関すること、閉校式や開校式、歴史伝統の保存に関すること、学校運営や教育計画に関すること、PTA組織や運営に関することなどを協議し、新しい学校の円滑なスタートを目指し活動しています。



準備委員会委員が一堂に会しての会議は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期が続いておりましたが、「緊急事態宣言」の解除を受けて、去る6月17日、第1回会議が社会福祉会館大ホールにて開催されました。

会議においては、中学校再編に向けた検討項目の洗い出し、スケジュール確認の後、主要な議題である「新設校の名称をどのように決定していくのか」について話し合わせ、公

募することになりました。

会議は、原則として2か月に1回開催される予定です。また、会議結果の概要や中学校再編準備の進捗などについては、準備委員会事務局（町教育委員会）が発行する「中学校再編準備委員会だより」にて、広く住民の皆さまにお知らせしてまいります。

※「中学校再編準備委員会だより」は町ホームページからもご覧いただけます。





【幼稚園向け】

『ひとはなくもの』

みやのすみれ／作 やべみつじり／絵



すみれちゃんはよく泣きます。悲しいとき、くやしいうとき、笑はずき

たときにも涙が出てしまいます。そんなすみれちゃんのことをお母さんは「泣く子はきらい」と言います。でもね…。この絵本は作者、みやのすみれさんが小学校1年生のときに制作した紙芝居をもとに作られています。人は泣くもの、悪いことじゃないよというメッセージがユーモラスかつ真つすぐに伝わる絵本です。ラストのすみれちゃんの一言に子どもたちはすっきり、大人はドキッとすることもありません。

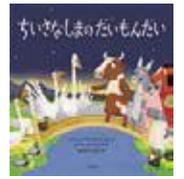
【小学校低学年向け】

『ちいさなしまのだいもんだい』

スムリティ・プラサーダム・ホールズ／作

ロバート・スターリング／絵

なががわちひろ／訳(光村教育図書) さまざまな動物たちが助け合っ



小さな島には、ちようとあひるが住んでいました。あるとき、他の動物たちも島の果物を食べることに気が入らないがちようが、島に渡るための橋を壊してしまっています。他の動物たちと仲良くしたかったあひるたちは反対でしたが、数の多いがちようと何も言うことができません。さて、島はどうなってしまうのでしょうか？実はイギリスのEU離脱を寓話的に描いたというこの絵本。立場は違っても共に助け合い、認め合う社会への願いが込められています。

【小学校中学年向け】

『タミーと魔法のことば』

野田道子／作 クボ桂汰／絵 (小峰書店)



弟が生まれてから、弟ばかりかわいがられて

いるのがさびしく、面白くないタミー。偶然通りかかった古道具屋さんで見つけた古いトランクになぜか一目ぼれし、9歳のお誕生日プレゼントにこのトランクを買ってもらいます。行方不明の人気マジシャンのものだったという、このトランクを手に入れたことからタミーの不思議な冒険が始まります。トランクから現れた、自分は元インドのマジシャンだと名乗る黄色い鉛筆トング工とともに、迷い込んだ世界でタミーが見つけた「魔法のことば」とは…。

【小学校高学年向け】

『うちにカプトガニがやってきた!』

石井里津子／作(学研)



カプトガニの観察会に参加したことをきっかけに、その飼育にチャレンジすることになった、山口県の小学3年生のハツちゃんたち一家。49個の卵を自宅マンションに持ち帰ったその日から奮闘の日々が始まります。毎日の海水替え、休眠させるための干潟づくり、ハツちゃんたちは無事にカプトガニたちを育て、海に返すことができるのでしょうか。カプトガニの不思議な生態はもちろん、「海の命を預かっている」という一家の姿勢に、環境についても深く考えさせられるノンフィクションです。

【中学生向け】

『赤毛証明』

光丘真理／作(くもん出版)



生まれつきの茶髪を注意され、校則だからと生徒手帳に「赤毛証明」と赤く大きなハンコを押されたことに傷ついた中1のめぐ。

「あたしってふつうじゃないの?」「ふつうってなに?」、規則に疑問を感じためぐはこれを夏休みの自由研究のテーマにしようと思案。そんな中、車いすバスケの強豪選手である幼なじみの紘の車いすがパンクさせられるという事件が起きます。その意外な犯人を知り、めぐの考え方に大きな変化が現れます。夏休みを終え、めぐが辿りついた「ふつう」の答えとは…。

すべて図書館にあります。お問い合わせは図書館(☎766・3238)まで。

※ここで紹介した本以外にもテーマ(カテゴリ)ごとのオススメ本などを、図書館ホームページ「テーマ別展示のコーナー」、ウェブ本棚「ブックログ」でも紹介しています。興味のある本探しにぜひご利用ください。

図書館のインターネット予約がより便利になりました

8月20日から町内在住の方を対象に、図書館の書架に並んでいる貸出可能の資料についてもインターネットから予約ができるようになりました。どうぞ、ご利用ください。

- ・インターネット予約には、図書館カードの番号とパスワードが必要です。それぞれの発行手続きは、図書館へお越しください。
- ・ホームページ上で「貸出可能」と表示されていても、即時に提供できるわけではありません。また、確保するまでの間に館内で貸出される場合などもあります。

予約本受取の際は、メール等の予約連絡か、ホームページでご自身の予約状況画面を確認の上、お越しください。

この広報誌は12,300部作成し一部あたりの単価は15.1円です。



再生紙を使用し環境にやさしい植物油インキで印刷しています。